

2020年11月期第2四半期
決算説明会資料

(2019年12月1日～2020年5月31日)

2020年7月16日(木)

(東証第1部:8095)



イワキ 株式会社

本日のご説明内容

I .決算概況

II .主要な取り組み

III .今後の見通し

決算概況

新型コロナウイルスによる減収減益の一方、新規連結子会社の貢献により売上高、EBITDAではマイナス影響を抑えることができました。

	実績	前年同期増減額	前年同期増減率
売上高	308億円	△2.2億円	△0.7%
営業利益	8.7億円	△4.0億円	△31.3%
経常利益	8.9億円	△4.4億円	△32.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5.9億円	△3.0億円	△33.5%
EBITDA ※	14.0億円	△2.5億円	△14.8%

▶スペラファーマ新規連結子会社化

(株式取得費用2.4億円、のれん償却費0.7億円の計上あり)

※EBITDA = 営業利益 + (有形・無形) 減価償却費

セグメント別業績

当第2四半期より連結対象となったスペラファーマ株式会社の寄与によりファインケミカル事業では増収、化学品事業では収益性改善により増収増益を達成できました。

セグメント	売上高		営業利益	
	実績	前年同期増減額	実績	前年同期増減額
ファインケミカル事業	98 億円	+17.7 億円	5.5 億円	△2.1 億円
医薬事業	42 億円	+3.1 億円	3.7 億円	△0.9 億円
HBC・食品事業	131 億円	△13.6 億円	△1.7 億円	△2.0 億円
化学品事業	35 億円	+0.5 億円	1.3 億円	+1.2 億円
その他※	—	△9.9 億円	—	△0.1 億円

※「その他」に関しては該当する子会社2社（動物用医薬品卸売）の全株式を譲渡したため、前第4四半期から連結対象外となっております。

新セグメント別売上構成

スペラファーマ株式会社の連結子会社化に伴い第2四半期より「CMC研究開発BU」を新設しました。

売上高構成比	研究開発	原材料製造	流通	製品製造	卸売	小売	計（事業別）
ファインケミカル事業	CMC研究開発 18億円	医薬品原料BU 18億円	65億円				98億円 32%
医薬事業	新設			医薬品BU 40億円	医療機器BU 2億円		42億円 14%
HBC・食品事業			化粧品BU 20億円	12億円	ファルマネットBU 52億円		131億円 43%
化学品事業		表面処理薬品BU 26億円 表面処理設備BU 6億円	食品原料BU 48億円	スパシャリティマテリアルBU 3億円			35億円 12%
計	18億円 6%	52億円 17%	134億円 44%	52億円 17%	54億円 18%		308億円 100%

※連結消去の記載を省略しているため合計がありません。

セグメント別概況詳細

セグメント分類

当期の概況

F C	CMC研究開発 BU	✓ 安定したハイパフォーマンスの提供の推進に努め、生産高・受注高共に堅調に推移し、総じて 新型コロナウイルスの影響を軽微に抑えて堅調に推移	
	医薬品原料BU	✓ ジェネリック原薬・新薬用中間体の販売強化に注力し、製販共に中分子医薬分野を重点市場と捉え、 海外商材提案・原材料新規開発等を展開した結果、全般が堅調に推移 ✓ 電子・機能性材料は需要の大幅減少等により、厳しい状況にて推移	
医 薬	医薬品BU	✓ 医療用医薬品では、主力の副腎皮質ホルモン剤などの外皮用剤や男性型脱毛治療薬、消毒剤の販売が伸長 ✓ 一般用医薬品では、 ビタミンC末・錠、新型コロナウイルス対策向けうがい薬や提携外用新製品の売上が伸長	
	医療機器BU	✓ 主力製品であるCPAP関連の売上が好調に推移し機器関連の売上が伸長 ✓ 輸出向けの消耗品の取引拡大により 消耗品関連が伸長し、売上・利益ともに大幅に伸長	
H B C ・ 食 品	化粧品BU	✓ インバウンド及び一部新型コロナウイルス禍における化粧品需要の減少から売上及び営業利益と共に伸び悩み、厳しい状況で推移	
	食品原料BU	✓ 「巣ごもり需要」の取り込み、機能性食品原料で新規を獲得するなどしましたが、全体としては低調に推移	
	ファルマネットBU	✓ 新型コロナウイルス禍でインバウンド、都市部における在宅勤務増加の影響から売上が急減、衛生材料・消毒剤の伸びで吸収できず、低調に推移	
化 学 品	表面処理薬品BU	✓ プリント配線板微細回路形成用シードエッチング剤及び硫酸銅めっき添加剤の拡販活動を、新型コロナウイルス感染症の影響が軽微または回復の早い地域において強化 ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大により営業活動への大きな影響があったものの、 韓国向け銅めっき添加剤及び台湾・中国・欧州向けはシード層エッチング剤の販売が堅調に推移	
	スペシャリティマテリアルBU		
	表面処理設備BU	✓ 売上原価低減活動等による利益改善が進んだことにより、好調に推移	

新型コロナウイルスによる影響

HBC・食品事業、化学品事業を中心に新型コロナウイルスによる影響があるも、
今後は化学品事業を中心にリカバリーを実施。

セグメント

影響状況

ファイン ケミカル 事業

- ✓ CMC受託においては、顧客都合による一部減少もあり
- ✓ 原料薬品BUは、一部マイナス影響もあるも業績への影響は限定的

医薬事業

- ✓ 調剤薬局・医療機関への情報提供活動は限定的になるも売上高はほぼ維持
- ✓ 美容皮膚科分野（ナビジョン）も訪問が限定的になるも**ECマース拡大に注力**
（医療機関と連携したクローズドのECサイト）

HBC・食品 事業

- ✓ 加工食品向け食品原料が増加し、**今後も堅調な見通し**
- ✓ 化粧品原料はインバウンド及び一部新型コロナウイルス禍における化粧品需要の減少
- ✓ 通販化粧品（国内）への影響は限定的
（ただし新規取り組みの中国向け輸出は停滞するも、**今後取戻しを実施**）
- ✓ ファルマネットBUは、特に量販店におけるインバウンド需要の大幅な低下により、
今後も厳しい見通し

化学品事業

- ✓ 中国、フィリピン向けで顧客工場の稼働停止による減少あり
- ✓ 新規案件は新型コロナウイルス収束後に**急加速の見込み**
- ✓ “Unstoppable Trend（止めることのできないトレンド）” を実現する技術要求・需要が
電子・半導体分野の復調を牽引すると予測

新型コロナウイルス対策

営業・事務部門を中心にテレワーク対応を行っており、今後のアフターコロナを見据えた「新しい働き方」への対応・検討を行っております。

3月

4月

5月

6月

7月

今後（アフターコロナ）

緊急事態宣言

時差出勤

テレワーク推奨

原則テレワーク

テレワーク推奨

出社率50%未満

以前から
テレワーク制度
導入済みのため
スムーズに実施

業務（受発注）部門を
一部別拠点に分離移管

デスクパーテーション設置

三密を避けた
働き方への転換



社長直轄で検討中

対応済

✓ テレワークの恒常化

対応中

✓ 固定電話のスマートフォン化
✓ サテライトオフィス
✓ 印鑑レス、電子決済の推進
✓ さらなるペーパーレス化

検討中

✓ テレワーク手当の新設
✓ オフィスの縮小 etc.

本日のご説明内容

I .決算概況

II .主要な取り組み

III .今後の見通し

スペラファーマ株式会社の概要

3月に武州製薬株式会社よりスペラファーマ株式会社の全株式を譲り受け連結子会社化しました。

名 称 スペラファーマ株式会社
 所 在 地 大阪府大阪市淀川区
 代 表 者 代表取締役社長 吉岡 敏夫
 事業内容 CMC研究開発
 従業員数 235人
 譲受価額 約63億円



2017年7月

武田薬品工業株式会社
ファーマシューティカルサイエンス部門



スピナウト

2017年7月～

武州製薬
株式会社



子会社

2020年3月～

イワキ株式会社



子会社

スペラファーマ株式会社

原薬、製剤、分析担当の
研究所でCMC研究の経験を
積んだエキスパートで構成

製販、商社事業との協業に
よるシナジー発揮

ジェイファーマ株式会社へ一部出資

創薬バイオベンチャーである「ジェイファーマ株式会社」へ一部出資することで、CMCにおけるさらなるプレゼンスの向上を図ります。

名 称 ジェイファーマ株式会社
 所 在 地 神奈川県横浜市鶴見区
 代 表 者 代表取締役社長 吉武 益広
 事 業 内 容 医薬品の開発
 出 資 額 非公表

当社グループ
 (スペラファーマ株式会社)



ジェイファーマ株式会社



大阪大学、北里大学、杏林大学、東京大学、独協医科大学、千葉大学、メリカコロラド大学、フランス国立科学研究センター、タイコンケン大学など

- ・主として細胞膜に存在するタンパク質で細胞内外への物質輸送を担う「トランスポーター」を標的とした創薬を希求するベンチャー企業。
- ・近年は特にLタイプ・アミノ酸トランスポーター（LAT1）を標的とした医薬品開発を推進。

(ご参考) 2020年6月30日付 スペラファーマ株式会社によるジェイファーマ株式会社への出資に関するお知らせ

前田薬品工業株式会社へ一部出資

1月に前田薬品工業株式会社へ一部出資を実施することで、外皮用剤製造におけるプレゼンスの向上を図ります。

名 称	前田薬品工業株式会社
所 在 地	富山県富山市
代 表 者	代表取締役社長 前田 大介
事 業 内 容	医療用医薬品・一般用医薬品・ 化粧品の製造販売
従 業 員 数	149名
出 資 額	非公表
製 造 品 目	

医療用医薬品
(外皮用剤)

一般用医薬品
(外皮用剤)

化粧品



※連結子会社等に該当する出資比率ではありません。

(ご参考)

2020年1月27日付 イワキ株式会社による前田薬品工業への出資に関するお知らせ

鳥居薬品株式会社佐倉工場の譲受

7月1日に鳥居薬品株式会社佐倉工場を承継する「岩城製薬佐倉工場株式会社」の全株式を譲受け連結子会社化しました。

名 称 岩城製薬佐倉工場株式会社

所 在 地 千葉県佐倉市

代 表 者 代表取締役工場長
小泉 裕一

事 業 内 容 医療用医薬品、アレルギー
製剤及び検査薬の製造

譲 受 価 額 11億円

製 造 品 目

医療用医薬品
(外皮用剤)

医療用医薬品
(注射剤)

アレルギー製剤
検査薬



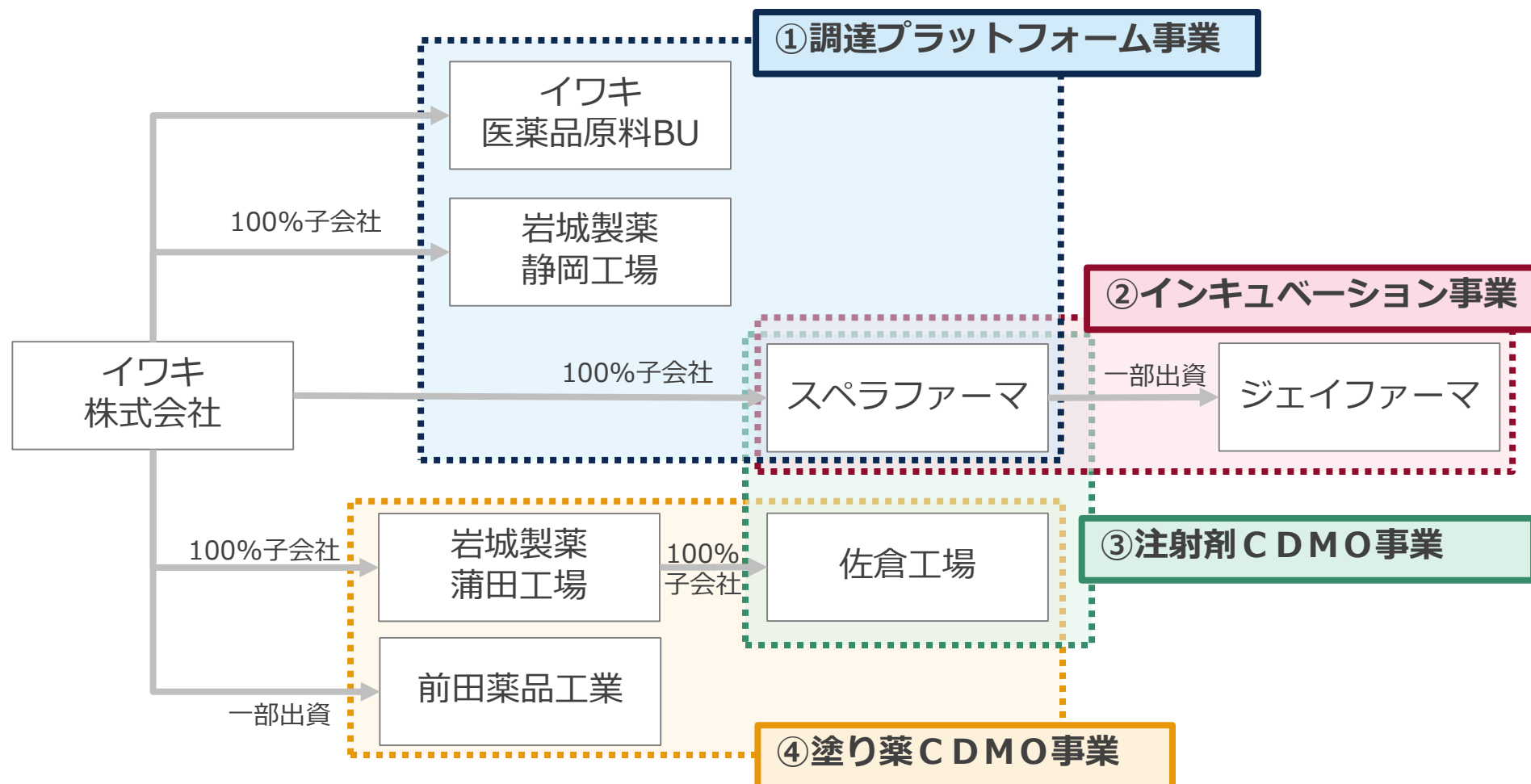
連結業績への取り込みは第3四半期（7月度）からとなります。

（ご参考）

2020年3月18日付 鳥居薬品株式会社の佐倉工場を承継する新会社の株式の取得（孫会社化）に関するお知らせ
2020年7月1日付 株式取得完了のお知らせ

4つの「戦略的ビジネスモデル」

4件のM & A及び一部出資により、当社に4つの新しい「戦略的ビジネスモデル」が誕生。
今後、ファインケミカル事業及び医薬事業の中心となるビジネスとして育成します。



CDMO: Contract Development and Manufacturing Organization

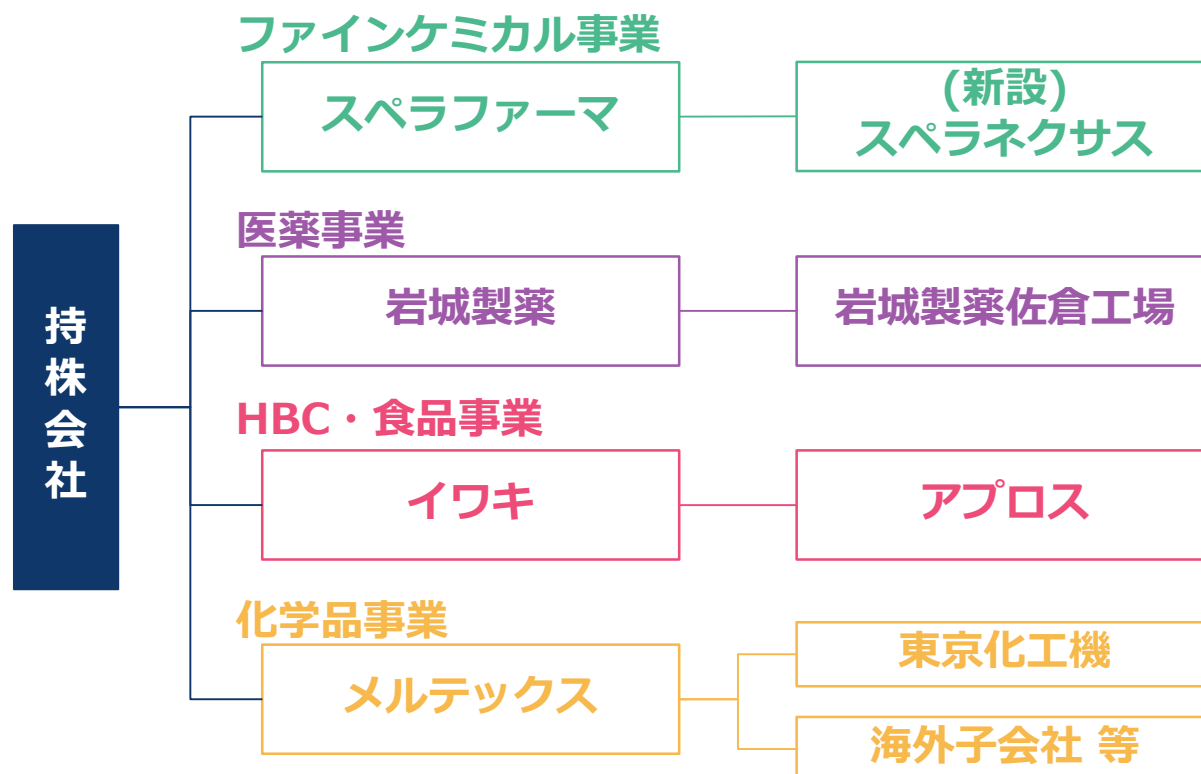
持株会社化の検討を開始

2021年6月をめぐりに持株会社化を目指す検討を開始いたしました。

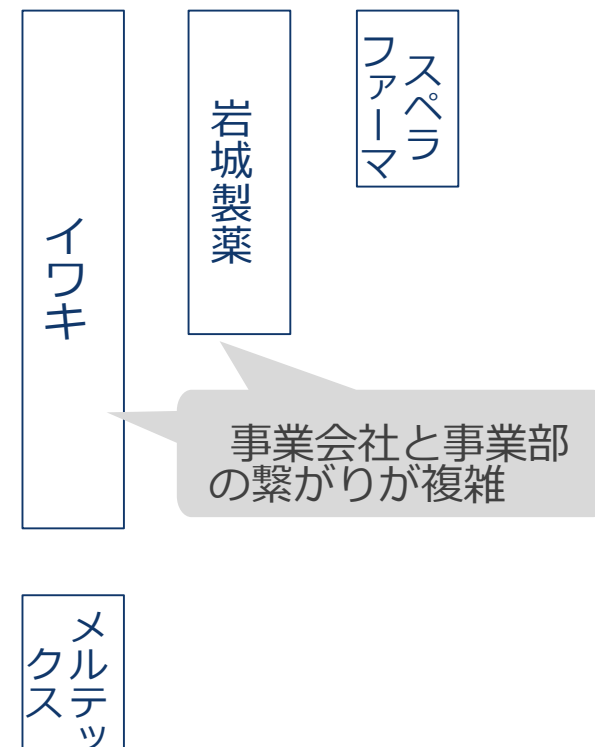
- ・ 最適な資源配分
- ・ 意思決定の迅速化
- ・ 事業部ごとの投資戦略の明確化

▶さらなる企業価値の向上を目指す

新体制（予定）



現状の会社体制



（ご参考） 2020年6月17日付 持株会社体制への移行準備開始及び準備会社の設立に関するお知らせ

本日のご説明内容

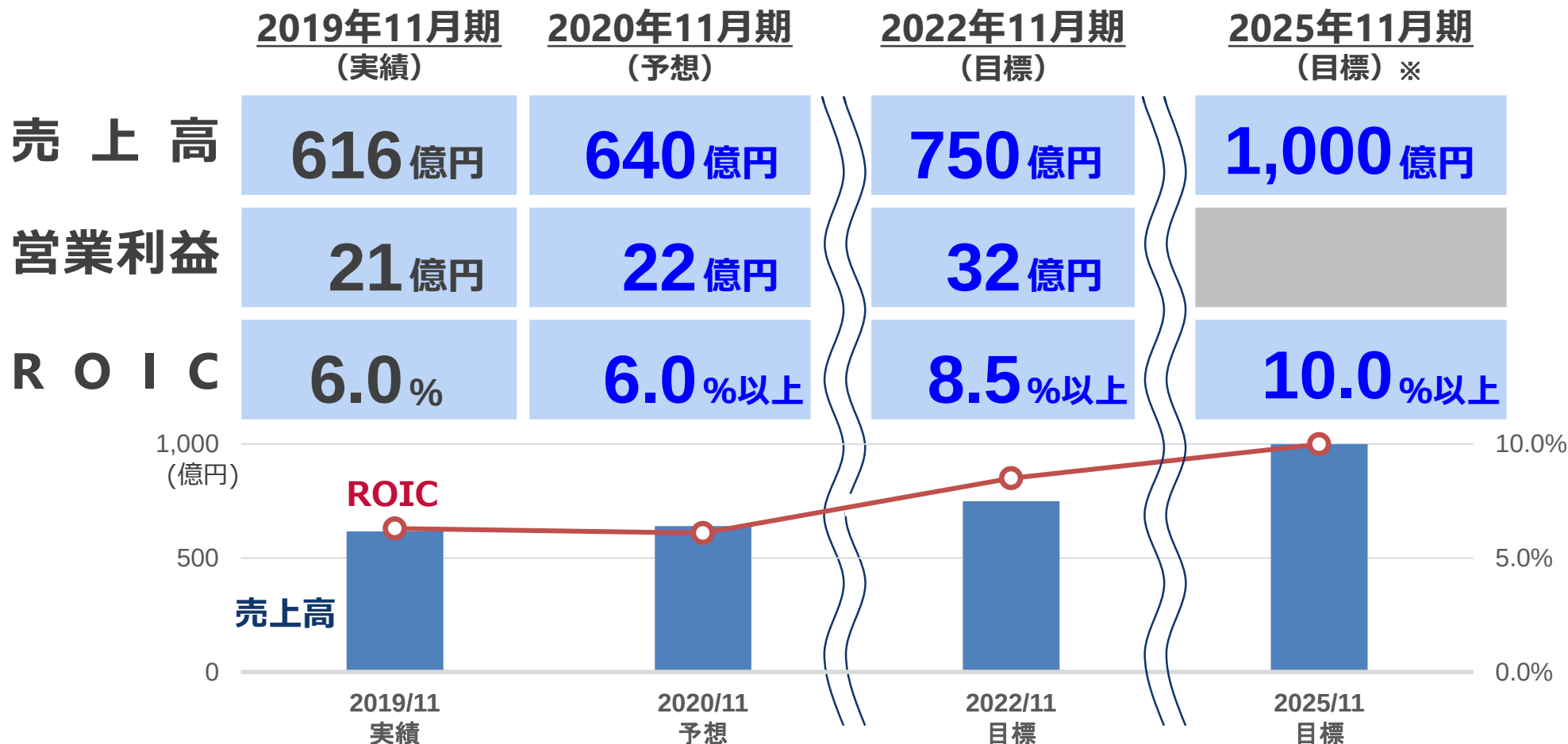
I .決算概況

II .主要な取り組み

III .今後の見通し

中長期経営計画

3カ年の定量目標につきましては、原則として毎年ローリングしています。



※最終年度の数値目標につきましては、2016年1月14日付開示から変更はありません。

通期連結業績の見通し

2020年11月期は、過去最高の売上高とともに、すべての段階利益で過去最高益を目指します。
新型コロナウイルスによるマイナス影響を新規連結子会社のプラスでカバーします。

	見通し	前期増減額	前期増減率
売上高	640億円	+24億円	+3.8%
営業利益	22億円	+0.8億円	+3.7%
経常利益	24億円	+0.8億円	+3.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17億円	+1.7億円	+10.9%
E B I T D A	34億円	+4.8億円	+16.3%

▶ 新規連結子会社2社増による寄与

(2020年3月～スペラファーマ)

(2020年7月～岩城製薬佐倉工場)

株主還元

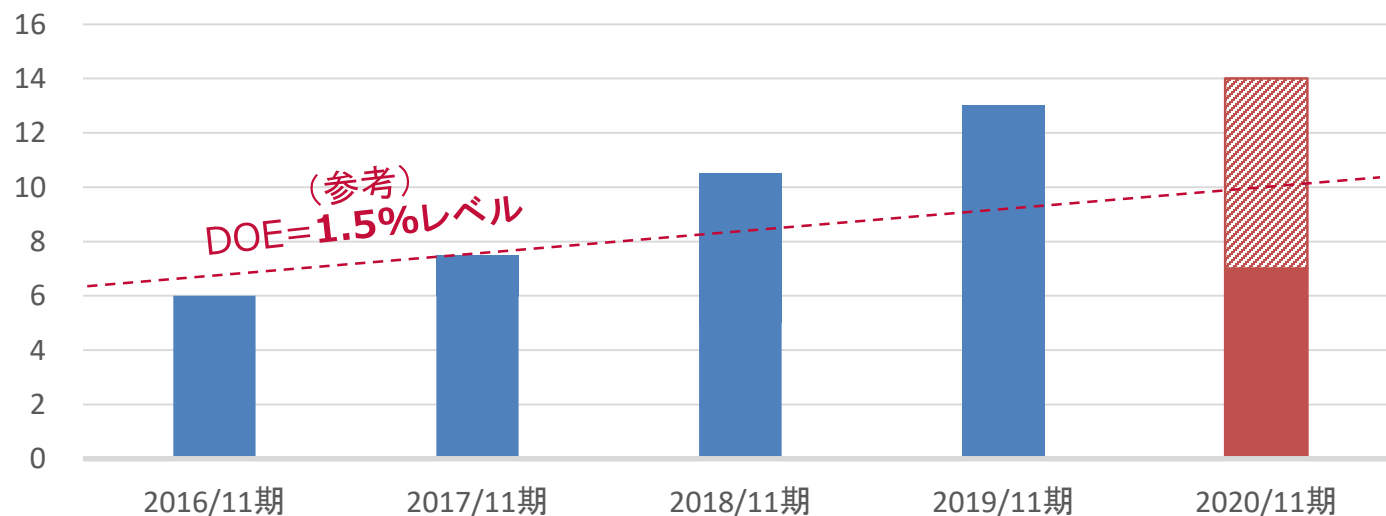
当期は前期の13.0円から1.0円増配の年間14.0円配当を予定します。

配当方針

純資産配当率
(DOE) **1.5%** 以上

連結配当性向 **30%** 目処

一株当たり
配当額(円)



期末配当
予想

7.0円

中間配当

7.0円

年間配当
予想

14.0円

【ご参考】 報告セグメント変更比較表

2020年11月期より報告セグメントを変更いたします。

新セグメント (2020年11月期から)	Business Unit	事業内容	事業会社	旧セグメント (2019年11月期まで)
ファインケミカル 事業	CMC研究開発 BU	✓ 医薬品のCMC研究開発・製造受託	スペラファーマ	(新 設)
	医薬品原料BU	✓ 医薬品原料の製造・販売	イワキ・岩城製薬	
医 薬 事 業	医薬品BU	✓ 医薬品の製造・販売	イワキ・岩城製薬・ 岩城製薬佐倉工場*1	医 薬 ・ F C 事 業
	医療機器BU	✓ 医療機器の販売	イワキ	
H B C ・ 食 品 事 業	化粧品BU	✓ 化粧品原料の販売	イワキ	H B C 事 業
		✓ 化粧品の通信販売	アプロス	
	ファルマネットBU	✓ 一般用医薬品及び関連商品の卸売	イワキ	
	食品原料BU	✓ 機能性食品原料の販売	イワキ・ボーエン化成	食 品 事 業
		✓ 食品原料の販売		
化 学 品 事 業	表面処理薬品BU	✓ 表面処理薬品の製造・販売	メルテックスグループ (日本・タイ・韓国・中国 香港・台湾)	化 学 品 事 業
	スパ®シリティアリアルBU	✓ 表面処理関連資材の販売		
	表面処理設備BU	✓ プリント配線板等の製造プラント の製造・販売	東京化工機・TCM(上海)	

*1岩城製薬佐倉工場は2020年7月1日より連結子会社化 *2化学品事業の変更はございません。

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。

問い合わせ窓口
イワキ株式会社
経営管理部
Tel:03-3279-0564